

# 横浜市立並木中央小学校 令和2年度 学力向上アクションプラン

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
○心の内側からわき起こる <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">確かな自信</div> を培います。	○自分を伝える力…自分の伝えたいことを、根拠をもちながらしっかり相手に分かるように伝える力 ○相手をわかる力…相手の立場や考え方の根拠を理解する力 ○関係を調整する力…実際の話し合いを円滑に進めていく力
○豊かな <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">コミュニケーション力</div> を育てます。	

### (2) 中期取組目標

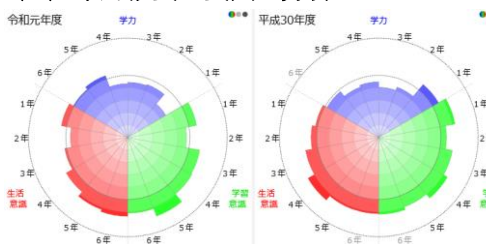
中期取組目標
問題解決的な学びを意図して、学びの基礎基本・身に付けたい力を明確にした授業づくりを進め、自己実現や達成感を実感できるような学びの実現を目指す。

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
<b>生きてはたらく知</b> 担当 研究部 (学習指導部)	① 「学力向上アクションプラン」の基本的方針や指導方法について共通理解の場を設ける。 ② 国語科を中心に、「生きてはたらく力」としての学力の基盤となる「言語の力」を重視した授業づくりを進める。 ③ 日々の言語環境の整備・充実を図るとともに、朝の時間を活用した読書活動としての「読み聞かせ」「朝読書」「古典タイム」などの意図的計画的継続的な全校の取組を行う。

## 2 横浜市学力・学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力概要と要因の分析



学力については、全体的にどの教科も新6年生以外は横浜市の平均よりも下回っている。特に、新2年生の学力が市平均を下回っている。各学年でばらつきはあるが、4教科の主だった傾向は以下のようなものである。

- 国語： 書く力や言語の知識・理解などが低い傾向。
- 算数： 数学的な考え方はどの学年でも伸ばす必要がある。
- 理科： 思考より、知識や技能の定着に課題がある傾向にある。
- 社会： 新3、4年生が全般的に低い傾向にある。

塾等で学習している児童はやや少ないが、家庭学習の時間は平均的である。低学年では平均を下回る傾向にあるが、学校の授業について分かりやすいと感じている児童も平均的であり、勉強が好きな児童は多い傾向にある。一方で、学習意識や生活意識については、学年や教科にややばらつきが見られるものの、全体的に意識は高い。自分の考えを発表する児童の割合や、話したり聞いたりして人と関わることを好む割合は、上学年ほど高くなっている。ただ、自分にはよいところがあると考える児童は、上学年が低い傾向にある。以上より、主体的・対話的な学びのよさを味わいながら育てていると考えられるが、基礎的な学力の定着も考慮し、さらなる学びの質の向上、自信の獲得につなげたい。

### (2) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

各教科、各学年で変化はまちまちであるが、学力層C、Dの割合が昨年度より解消されているところが多い。「学校の授業が分かりやすいか」の問いについてもA,B層が増加している。一方で、新3年では学力C層が増え、二極化の傾向にある。学習意識や生活意識の高さに対する学力の実態のずれを認識し、学習への意欲が確かな学力へと繋がるような授業改善が必要となってくる。

また、先の対話的な学びによさを味わうことが低学年では減少傾向にあったり、自分にはよいところがあると思っっているA層児童の減少傾向にあったりする点も留意したい。引き続き、課題解決的な学習を通して、確かな言葉の力身につける学びづくりをすすめる過程で、身に付ける力を細分化・具体化した授業づくりに努めていきたい。

### 3 令和2年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を最後まで聞く力</li> <li>・相手のよさを理解する力</li> <li>・思ったこと、感じたことを言語化する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活科等を中心とした体験をもとに、観察したことを記録したり、身近な物事を簡単に説明したりする文章を書くなど、表現活動を大切にする。</li> <li>○具体物、半具体物を活用し、繰り返し指導を積み重ねながら基礎基本の力の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分が知りたいことや分からないことを尋ねたり、自分の気持ちや考えを表情や態度、言葉で表わしたりしながら対話する場面を位置付ける。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人の話を最後まで落ちなく聞く力</li> <li>・分かりやすいように、順序を立てて伝える力</li> <li>・思ったこと、感じたことを言語化する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習や活動の中で、お互いのよさを見つけ合う場を設け、学習への意欲を高める。</li> <li>○具体的な自分の経験と結び付けて、感想や考えをもち、語彙を豊かにする。</li> <li>○自分の思いや考えをもって、説明したり、記録したりする表現活動を大切にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業内での効果的なフィードバックの時間を設定し、さらなる学習の定着を図る。</li> <li>○どの教科においても、見方、考え方を働かせる場を設定し、粘り強く考える学習活動の充実を図る。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分から興味をもって、対象とかかわる姿勢</li> <li>・相手に分かりやすいように順序立てて伝える力</li> <li>・友達と考えを伝えることで、自分の考えを明確にする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会科等を通して、故郷並木のまちに目を向け、すすんで調べたり、特色に気付いたりして、まちの一員としての自覚を育成する。</li> <li>○日常的な活動の中で、基礎的、基本的な学力の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協働学習を位置付け、自分の課題に向かって主体的に自分の言葉で話したり考えたりして解決していける学習を設定する。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と考えを伝え合うことで、他者との違いや共通点に気付く力</li> <li>・質問や共感、疑問をもって人の話を聞く力</li> <li>・他者の意見とつなげて発言する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字や計算などの基礎的な知識・技能に関して、宿題や日常の活動の中での反復、見直しの習慣化を図る。</li> <li>○算数での少人数指導や、理科における理科支援員の活用など、個の学力に応じたきめ細やかな指導を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手や目的が明確化される学習課題を設定し、よりよいものを目指して繰り返し考えたり話し合ったりする活動を重視する。</li> <li>○繰り返し指導で、基礎基本の定着を図る。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要点をおさえて聞く力</li> <li>・他者の意見とつなげて発言する力</li> <li>・失敗を含めた自分の経験を生かす姿勢</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○理科や社会の基礎的な知識や技能について、課題解決的な学習過程の中で獲得・定着できるよう計画的に指導する。</li> <li>○漢字や計算などは、宿題等での継続的な支援、間違いの見直しの習慣化を図ることで定着を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動全体を通して、対話的な学習過程を重視し、受信・発信の意識を高める。</li> <li>○相手や目的が明確化される学習課題を設定し、よりよいものを目指して繰り返し考えたり、話し合ったりする活動を重視する。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対して、試行錯誤しながら解決できる力</li> <li>・自分を高めるために必要なことを考えられる力</li> <li>・将来に向かって行動する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手や目的のある課題解決的な学習過程を重視し、「解決のために何が必要か」「何ができるようになったか」を子ども自身が自覚的に捉える機会を大切にする</li> <li>○思考力や判断力、学びに向かう態度の育成を目指す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字や計算を中心とした基礎的な知識や技能についての定着を図る。</li> <li>○教育活動全体を通じて、自分の考えをもち、表出・共有する場を重視する。特に書きまとめる活動を大切にする。</li> </ul>
個別支援学級	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や友達のよさを認められる力</li> <li>・相手の話を最後まで落ちなく聞く力</li> <li>・自分の思いや考えを表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別の教育支援計画・個別の指導計画に基づき、個々の特性や発達段階を的確に捉え、課題を明確にして効果的な指導を行う。</li> <li>○個に応じて視覚的な支援、反復的・継続的な指導を行い、学習への興味や意欲を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校や個別支援学級の行事ごとに、子どもが自己表現できる場を設定し、達成感を得られるようにする。</li> <li>○めあてをもって活動に参加し、やり遂げることで自己肯定感を高める。</li> </ul>

